

平成20年度 第9回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成20年11月25日(火)
開会 午後2時00分
閉会 午後3時57分
- 2 場 所 富里市役所分庁舎2階大会議室
- 3 出席委員 委 員 長 荒木田 直美
委員長職務代理 高橋 弘和
委 員 河田 厚子
委 員 武井 勝彦
教 育 長 吉富 芳正
- 4 出席職員 教育次長 細野 明
教育総務課長 南條 正和
学校教育課長 山田 眞澄
生涯学習課長 萩原 三夫
学校給食センター所長
並木 明
図書館長 中嶋 保雄
- 5 事務局職員 教育総務課主幹 高須 利幸
教育総務課主査 越川 義幸
- 6 傍 聴 人 1名

1 委員長開会宣言

委員長 平成20年度第9回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成20年度第8回定例会議会議録承認

3 教育長報告

- ・ 10月28日 富里市教育施設耐震化整備等事業計画推進委員会。現在の進捗状況を報告し協議をした。
- ・ 11月7日 富里市特別支援教育小中合同発表会。富里南中学校で開催された。特別支援学級の児童、生徒、障害のある子どもたちが日ごろの学習成果を発表するものである。成長振りに感動して、出席者からたくさんの拍手が贈られていた。
- ・ 11月11日 富里市学力向上のための授業参観。富里南小学校で開催された。国語の読解力をテーマに、全国優秀教員にも選ばれ表彰された台東区立上野小学校の八戸先生を招き、モデル授業を実施してもらった。子どもたちの的確な読解力や思考能力を育てるうえで、大変参考となった研修会であった。
- ・ 11月13日 スイカロードレース事務局会議。本年度のロードレースの課題等を整理した。
- ・ 11月14日 印教連教育委員・教育長合同県外研修視察。無事に終了することができた。委員の協力に感謝する。
- ・ 11月19日 文化祭児童作品展表彰式。文化祭での入賞、生活習慣向上のための標語コンテストでの入賞等の子どもたちを表彰した。

4 教育委員報告

委員 文化祭について、今回初めて見せていただいた。その中で特に興味深かったのは、小中学生の作品である。小学1年生の元気ある作品や、大人顔負けの字を書く中学生の作品等を見ると、本人の努力はもちろん、それを指導して下さる先生方の熱意が感じられた。

また、芸能発表会では内容が多彩で、趣味や特技を活かし生活を楽しむ方が増えていることがわかった。自分の意欲を高め、生活の幅を広げる機会を得られる場として文化祭は意義のある行事だと思う。ただ、残念なことに一般の参加者が少なかったように感じた。来年に向けて、多くの人が参加いただけるような対策が必要と考える。

委員 教育委員としてではなく、11月9日日吉台小学校道徳授業地域公

開に出席した。1時間目に全18クラスが道徳の授業を実施した後、講話という内容である。授業では一つのテーマをクラスごとに設定し、先生の問いに対し生徒が答えるというものであった。全員が参加し考える授業であればいいなと期待しながら見ていた。終了後、教育懇談会があり、元八千代市立村上北中学校の矢口校長先生の講話を聞いた。テーマは、「家庭や地域社会が道徳教育に果たす役割」で、道徳の授業が形骸化やパターン化されることがなく、子どもたちの本音を引き出す授業をしてほしいという話であった。

また、学校と家庭、地域と学校との連携が不可欠で、道徳授業が正しく進められていくと子どもたちが変わり、人を助けることがあたりまえになり、そして親が変わり、地域が変わるという話であった。

委員 11月8日浩養小学校独立60周年記念行事に出席した。子どもたちを中心とした式典でとても和やかでよかった。また、地域の方々も大勢出席していた。講演会では、元筑波大学岡本名誉教授にお話をいただいた。普段は大学生を相手にされている先生ですから小学生相手の話は内容に苦慮したと思う。子どもたち相手なので長時間は無理なため、子どもたちを入れての講演会、そして子どもたちを退席させての講演会というように二部構成で、大変ためになった。

11月14日印教連県外研修視察について、午前に文部科学省、午後川崎市教育委員会というハードな内容であった。文部科学省では、学力調査を踏まえて講話いただいた。最終的にどうやって教育の場に活かしていけるかが課題であり、委員会でも検討していかなければならない。

川崎市教育委員会では、教育委員会の点検及び評価について講話いただいた。先進的に取り組んで3年前から実施しているということで、非常に綿密な点検及び評価をされていた。本市においては、前回示された内容の方向で進められたい。

教育委員としてではなく、11月13日農畜産振興機構が主催で食品リサイクルの視察とそれを利用した野菜畑での使用について視察に来た。その場で、給食に関することや残菜への取り組みについて質問された。食品リサイクルは、現在、畜産飼料等の値段が上がっていることから、消費者からもリサイクルされるべきであるというような機運が高まってきていると感じている。

委員長 11月14日印教連県外研修視察について、教育長をはじめ事務局は大変であったと思う。他市町村の委員から大変充実したもので、文科省の職員から直接話しが聞けてよい企画であったと言っていた。多くの資料をいただき、詳しい話をしていただいた。現場の先生方が直接聞

ければよいのではないかと思った。教育委員としてどうするかといったときに、研究授業等を見に行った際に内容や先生方の取り組み方で授業の見方が参考になった。

川崎市でも教育委員会の評価シートなど多くの資料をいただき、これから進めていくにあたり参考になった。

5 専決処分の報告

(1) 行事の後援について

教育長 - 資料に基づき説明 -

平成21年2月15日開催の第25回千葉県体育指導委員研究大会について名義使用の承認をしたので報告するものである。

6 議案

委員長 議案第1号について提案理由の説明を求める。

教育長 議案第1号は、富里中央公民館の臨時休館日について、館内整備のため臨時休館日といたく提案するものである。

よろしくご審議のうえ可決されるようお願いする。

委員長 議案第1号について審議する。

(1) 議案第1号 富里中央公民館の臨時休館日について(生涯学習課)

生涯学習課長 - 補足説明 -

例年、12月28日と1月4日については、施設の点検等も踏まえ一般者は利用させていない。

< 質疑・討論 >

質疑・討論なし。

< 採決 >

議案第1号は賛成全員により原案のとおり可決。

7 報告事項

(1) 富里小学校屋内運動場及び富里中学校校舎の耐震補強事業の前倒しについて(教育総務課)

教育総務課長 - 資料に基づき説明 -

富里小学校屋内運動場及び富里中学校西校舎については、今年度設計し、工事は来年度の計画であった。10月16日に平成20年度補正予算が国会で成立し、その中に学校施設耐震化を加速するために必要な予算が盛り込まれた。これを受け、文部科学大臣から耐震化加速に関する

通知が出された。本市としては、この補正予算を活用し、平成20年度から着手すべく12月市議会に補正予算を提出した。補正で対応した千葉市等を参考にしたところ、補助として優遇されるとのことから前倒しするものである。

四川省の地震を受け地震防災対策特別措置法が改正され、一般財源が引き下げられ、補正予算で対応した場合の一般財源の支出はなくなる。この方法を活用していたのが千葉市で、事務が大変になることから他市は行っていなかった。今回、千葉県内では県と市では富里市だけの対応である。この前倒しについては、財政的な面だけでなく、工事を進める上でもメリットがある。12月議会において議決いただければ、それを次年度に繰り越し、工事着工となるが、夏休みの期間が利用できるため、プレハブを使用しなくても今の教室を利用しながら工事ができることとなる。実際の工事を視察したが、メリットとしては、プレハブの必要がなくなるため、工事費が抑えられ、教室もそのままなので授業への影響も少ない。

富里小学校の体育館については、照明を見直し明るいものとなる。また、外壁の塗装や老朽化した箇所の補修を実施する予定である。

委員 前倒しで有利な補強が早くできるということであるが、事前に進めてこられたことについて評価したい。耐震補強は予算が多くかかり、補強が何年も先に行くことから、大丈夫なのかと不安になっていた。今回、特に耐震の数字の悪い2箇所の前倒しができることはよいことである。

富里中学校のピタコラム補強について、仕上がった時点で外観上どのような形となるのか。

教育総務課長 市内では、富里小学校が耐震補強を実施している。教室の窓のところに筋交いがM型に入っている。これは、耐震補強が始まった頃のものである。室内側からの工事であるため、教室を圧迫するものであった。

今回のピタコラム補強は、コンクリート面にアンカーボルトを打ち、鉄板をはめ、鉄筋で巻きコンクリートを打つ。出来上がりとしては、バルコニーの外側に筋交いができることとなる。

委員長 地震はいつ発生するかわからないので、早めの対応をお願いしたい。

(1) 平成21年度富里市立幼稚園園児募集状況について(学校教育課)

学校教育課長 - 資料に基づき説明 -

資料について、願書交付数に対し、願書受付数となっている。いずれ

も募集人員に対し定員を割っている状況である。今後は、二次募集として、12月1日から先着順に入園願書の受付を開始する予定である。

委員 以前に幼児数が地域別にどのように推移していくかという資料をいただいたことがあるが、平成21年度に幼稚園に入園するであろう全体での数に対し、どのくらいのものにあたるのか。

学校教育課長 昨年は一昨年に比べ72名の増であった。平成20年度から21年度については、37名の減となっている。対象人数としては、減っている。

浩養幼稚園について、園長の話では受付の状況から障害の程度が重いであろう幼児が4歳児で4名、5歳児で1名入園を希望しているとのことである。対応について園長と協議し、医療機関、保健センター、マザーズホーム等色々な角度から調査し、入園を許可するかどうかを判断し、最終的に1月には保護者に伝えることとなる。

また、富里幼稚園、向台幼稚園にも1名ずつ障害の程度の重い幼児がいるとのことである。

委員長 入園について、これから変更等があらうと思う。よろしくお願ひしたい。

(2) 第41回富里市文化祭開催結果について(生涯学習課)

生涯学習課長 - 資料に基づき説明 -

平成20年10月31日から11月3日に開催した文化祭の開催結果について、児童生徒作品展の展示数は、昨年とおりの点数であった。一般の展示数は、俳句、手工芸、絵手紙が昨年と比べ減少したが、他は昨年と同様であった。

発表部門は、団体数は増えているが、出演者数としては減っており少人数化しているが、多彩な発表が見られたと思う。

今回から体験教室をお願いし、4団体が開催した。また、展示部門では、来場者にはなるべく説明者等がついてもらうよう依頼した。

来場者数について、昨年からリサイクルフェアと健康まつりが産業まつりと同時開催となり、別開催となったため減っている。

アンケートは、回収数が23件であり、来年度は増えるように検討したい。意見を参考に次年度に向け検討していく。

委員 11月1日に団体の1人として参加した。団体は、あの大きなステージで発表することを一つの目標としている。アンケートの結果にもあったが、寂しい文化祭となっている。出場する側も意識してピーアールしなければいけないと思うので、事務局と共同で盛り上げていく必要が

あると考える。

委員長 体験教室を取り入れた関係で、展示場所がかなり変更となったと思う。それによって生じた問題点やよかった点はあるか。

生涯学習課長 1階ロビーを中心に人目につくよう体験教室を実施した。展示については、各部屋に展示した。場所の変更はあったが、大きな混乱はなかった。初めてのものもあったので、スムーズにいかない部分もあったが、大きなトラブルもなく開催できた。

委員長 昨年と比べて改善され、準備の段階から団体に任せるという形を取り、新たに体験教室を開催するなど工夫されている。人数が寂しい部分はあるので、来年に向け検討されたい。

午後3時18分 休憩

午後3時29分 開議

(4) 月例報告(各課等)

各担当課長等 - 資料に基づき説明 -

教育総務課

- ・ 11月19日 洗心小学校少子化に伴う世話人会が開催された。
- ・ 11月28日 富里市議会が開会される。
- ・ 12月24日 第10回教育委員会定例会議を開催予定である。

学校教育課

- ・ 11月11日 富里市学力向上のための授業研究会が富里南中学校で開催された。
- ・ 11月26日 指導力向上研修会。文科省から講師の先生をお願いし、浩養小学校で実施予定である。
- ・ 11月4日開催の校長会議について、まず、学校運営について、人事構想、指導力不足教員の対応を依頼した。次に、教職員の服務について、印旛管内でも部活動での体罰が発生しており、毎回依頼しているが注意を促した。

授業については、校長のリーダーシップのもと、より良い授業作りをお願いした。

また、全国学力・学習状況調査結果について、分析結果を活かし、学力向上につなげられるような手だての構築を図るよう依頼した。

学校給食センター

- ・ 11月6日 富里南小学校PTA給食委員会研修会が開催され、栄養士が出席した。調理実習が主な内容であったが、給食センターの概要と取組状況について説明した。
- ・ 11月12, 13日 平成20年度千葉県米消費拡大推進事業講習会が七栄小学校で開催され、千葉県農政事務所が、米の消費拡大を目的に料理教室を実施し、七栄丼を調理した。
- ・ 12月18日 富里市学校給食センター統合整備事業に伴う給食研究プロジェクトチームを開催予定である。

委員 富里南小研修会と七栄小学校での講習会の参加人数は何人か。

学校給食センター所長 富里南小研修会は約10名、七栄小学校での講習会は6年生全員で開催した。

生涯学習課

- ・ 10月31日から11月3日まで第41回富里市文化祭を開催した。
- ・ 12月12日 第2回社会教育委員会議を開催予定である。議題としては、文化祭開催結果と1月11日に予定している成人式、社会教育関係団体の認定、団体の取組状況等である。

図書館

- ・ 10月27日から11月9日にかけては、読書週間とされている。図書館としても、年間を通し土曜日に定例のおはなし会を開催しているが、この読書週間にちなみ、11月4, 6, 11, 18日に学校に出向いておはなし会を開催した。
- ・ 11月11日から14日までわくわくWorking!として富里中学校生徒を受け入れた。
- ・ 11月29日から12月6日まで雑誌リサイクルを実施する。保存期間の切れる雑誌2,982点のリサイクルを予定している。

教育長 中学生を対象としたおはなし会の内容と、反響はどうであったか。

図書館長 朝の読書の中で図書館ボランティアの方々がクラスに出向いておはなしをしていただいた。クラスによって聞く体勢は異なるが、おはなしをすると生徒は集中し聞いているということである。中学校と比較して、小学校の方が集中して聞いているとのことである。

委員長 図書館ボランティアについて、図書館で計画したおはなし会以外に、学校からの要請はあるのか。

図書館長 図書館ボランティアは20名いる。開設当初に図書館読み聞かせボランティアとして基礎講座を終了した方々を、現在学校を中心とし

て、また、ブックスタート事業として保健センターで乳幼児健診を行っている親子を対象に、健診終了後絵本等の読み聞かせを行っていただいている。事務局は図書館で行い各学校に行っていただいている。要望等に応じて広がりを持たせていきたい。

8 その他

(1) 洗心小学区の少子化問題について

教育次長 移動地域教育懇談会後の洗心小学校区世話人会議を10月30日及び11月19日に開催した。組織の構成について協議し、会員を選出していただき、組織の規定案についても意見をいただいた。メンバーとしては、17名の予定である。1月に第1回目の(仮称)洗心小学校のありかた検討協議会を開催する。規定と名簿については改めて提示する。

委員長 就学予定児童の保護者の選出方法はどうか。

教育次長 今後のことであるので、就学前の保護者も委員として入れたほうがよいという案を出した。その結果、地元から選出されたものである。

委員長 保護者は、児童数の少ないところなどの入学年度で分かれているか。

教育次長 構成者として細かな指示はしていない。地元任せという形で依頼している。

9 委員長閉会宣言

委員長 これで第9回定例会議を終了する。